

兵庫県加東市・株式会社マルヤナギ小倉屋 2/1「緊急避難場所及び避難所の 指定に関する協定」を締結しました

蒸し豆・煮豆・佃煮メーカーの株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区:代表取締役社長 柳本一郎）と兵庫県加東市（市長：安田正義）は、災害発生時における緊急避難場所及び避難所として加東市がマルヤナギ大門工場の一部施設を指定し、災害発生時において加東市の協力要請に基づいてマルヤナギ小倉屋は協力をすることで合意し、協定を締結いたしました。

加東市における災害発生時の協力に関する協定締結は、加東市内の食品メーカーでは初となります。

【協定概要】

＜避難所として指定される施設＞

名称：株式会社マルヤナギ小倉屋 大門工場
所在地：兵庫県加東市大門 67 番地
部屋：第 2 工場 2F 大会議室（約 91 m²） およびトイレ

- この度の協定により、災害発生時において加東市民および帰宅困難者は、大門工場の施設を利用できるようになります。
- 施設の使用の他、冷暖房や通信機器の充電用電源設備、食料および飲料水（加東市から要請があり、かつ提供が可能な場合）を提供します。



（参考）マルヤナギ小倉屋大門工場

＜参考＞

2020年12月にコージェネレーションシステムを導入。
停電時の電力供給が可能に

マルヤナギ小倉屋大門工場では、2020年12月に導入したコージェネレーションシステム（燃料油：都市ガス13A、出力：400kw、ヤンマー製）によって、停電時においても最低限のインフラ設備を稼働させることが可能になりました。



（参考）大門工場に設置されたコージェネレーションシステム